

平成 22 年度 第 1 回中野市都市計画審議会会議録

日時 平成 22 年 6 月 29 日（火）午後 3 時 30 分

場所 中野市市民会館 42 号会議室

出席者 竹内本芳委員、柳沢吉保委員、佐藤恒夫委員、芋川吉孝委員、沢田一男委員、
碓井清委員、倉島明一委員、藤巻清一委員、清野秀昭委員、山崎よう子委員、
関きよ子委員、町田隆夫委員、清水千春委員

欠席 小林伸委員

市 小古井建設水道部長、小林都市計画課長、金子都市計画課長補佐
戸田監理計画係長、小林副主幹

都市計画課長 私は、都市計画課長の小林でございます。本日の審議会の進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

本日は、中野市都市計画審議会の開催をご案内申し上げましたところ、委員の皆様にはご多用中にもかかわらず、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。ただ今から中野市都市計画審議会を始めさせていただきます。

本審議会は、中野市都市計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定によりまして、委員の皆様の過半数の出席により会議が成立することとなっております。なお、委員名簿につきましては、別冊資料にとおり 14 名の皆様です。

本日は、委員 14 名中 12 名の出席をいただいております、会議は成立しております。

なお、中野警察署長の小林委員さんからはご欠席との連絡をいただいております、柳沢委員さんからは少し遅れるとのご連絡をいただいております。ご了承をお願いします。では、はじめに建設水道部長の小古井からご挨拶を申し上げます。

建設水道部長 あいさつ（省略）

都市計画課長 これから会議に入らせていただきますが、本日の会議は、新たに委員としてご委嘱申し上げました皆様による初めての会議でございます。私から委員さん、職員の紹介をさせていただきます。

（紹介 省略）

では、お手元に配付してある次第に従いまして進めさせていただきます。まず、会長の選出ですが事務局から説明いたします。

監理計画係長 「中野市都市計画審議会条例」及び「都道府県都市計画審議会及び市町村都市計画審議会の組織及び運営の基準を定める政令」では、会長は学識経験者から任命された委員のうちから委員が選挙するという規定があります。

ちなみに、学識経験者は、竹内委員さんと柳沢委員さんです。

都市計画課長 ただ今、選出方法については事務局からご説明したとおりです。つきましてはどのように選出したらよいか、ご意見をお願いしたいと思います。

委員 事務局に一任でお願いしたい。

都市計画課長 事務局一任のご意見をいただきましたので、進めさせていただきます。これまで慣例により農業委員会の会長さんをお願いして参りましたので、事務局案としては農業委員会の竹内本芳会長にお願いしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

(全員 異議なし)

ご賛成をいただきましたので、竹内委員さんには審議会の会長をお願いします。会長席へご移動をお願いします。

竹内会長さんにはごあいさつをいただき、以降の進行をお願いします。

会長 ただ今、中野市都市計画審議会会長に選出されたわけではありますが、委員の皆様のご協力により本審議会を運営して参りたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。

では、会長代理の指名を行いたいと思います。方法について事務局から説明をお願いします。

監理計画係長 ではご説明させていただきます。会長代理につきましては特別な規定はございませんが、慣例で区長会長さんをお願いしてきました。

会長 では慣例により、区長会長の藤巻清一さんを指名いたします。藤巻さんにはよろしくお願ひします。

ただ今、会議事項としまして、会長の選出が終了しました。続きまして、その他として「中野市都市計画道路の見直し」について、事務局から説明をお願いします。

担当 説明(省略)

都市計画課長 延長距離、整備率、経過年数等補足説明

会長 　　ただ今、もう半世紀前に計画された都市計画道路が整備未着手のまま残っているという説明もありましたが、何かご質問がございますでしょうか。

委員 　　見直しを行う際のデータというか根拠は何を用いられる予定でしょうか。人口が減少又は横ばいの中で、6Pの図の中で計画されている道路沿いの人口推移や土地利用の変化を踏まえて見直しを行っていくのか。

　　おそらく50年前は、住民が必要とする道路計画であったと思いますが、今後はむしろ郊外から流入してくる通過交通が増えてくるのではないかとということも懸念されます。

　　そうなると、むしろ逃がしてあげる周りの環状線の方が重要になるのではないかと思います、そのあたりどんなデータを使用されるのでしょうか。

担当 　　見直し検討部会の中で交通量の推計等に用いたデータは、道路交通センサスの数値を用いてコンサルにより交通量の推計、需給バランスの推計をしました。

委員 　　交通センサスを使ったということは、おそらく一般交通量、自動車OD調査なども含まれると思いますが、道路交通センサスだと5年おきに行い、50年前に行った結果と今のものを比較して、交通量とか自動車ODとかどういう変化をしているか、この変化を考慮したほうが良いと思いますし、資料の都市計画と道路の整合性は大事なところで、用途と機能を整合させた上で見直しをかけた方が良いと思います。

　　完全に住居系であるところに、大きな幅員構成の道路をつくるとなかなか交通安全面で危険が及ぶということもありますし、逆に通過交通を逃がす役割を持たせる道路は、幹線道路をきちんとやらないと、そこを通らないで地区内の生活道路に流れてしまうということもあるので、土地利用の件も含めて検討いただければと思います。この審議会にはそういうデータも一緒に提示していただくと審議しやすくなると思います。

都市計画課長 　中間報告で資料等を出してご検討をいただきたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

会長 　　他に何かございますか。

委員 　　長期間整備がされない路線ということで、できるだけ整備されるようになるのが望ましいと思っておりますが、例えば立ヶ花東山線は、現道の北側に計画路線がありますが、そういうところは現道を活かすことによって整備費も安くすることも可能だと思います。現道をできる限り活かすという見直しの考え方は大事だと思います。

都市計画課長 倉島委員からの意見については、見直し検討部会の中でも、現道を活かすということも含めて検討してきております。そんなことも踏まえて中間報告で審議会にご説明して参りたいと考えております。

会長 他にございますか。

委員 別紙2で決定権者が長野県と中野市とありますが、この違いは何でしょうか。

担当 都市計画の施設内容により決定権者が違ってきます。道路につきましては、県道は県で、市道は市ということになります。ただし、市道であっても片側2車線で両側4車線になる道路は県となります。

会長 よろしいでしょうか。

委員 位置づけ、計画期間の話がありましたが、平成28年までに変更決定、廃止決定をしたいという基本的な考え方でしたが、路線毎に緊急性があり、路線毎に早めてもらうことはできないでしょうか。

担当 緊急性の高いところは、早めに取り掛かりたいと考えております。

会長 よろしいでしょうか。

都市計画課長 補足をさせていただきますが、都市計画道路の見直しにつきましては、現在17路線あるうち、まず見直しが必要という路線を洗い出します。その中で優先度の高いものを決めて、順次路線毎に地元説明を行い、了解をいただいて都市計画道路の見直し決定の事務を進めていくということでございます。図上では17路線のうち現行のままとするのか、見直しをするのかと2つに分かれまして、見直しになった路線につきましては優先度の高い順に都市計画の見直しの決定をして参りたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

委員 県道で9-4、9-5の区間は、現在整備中の吉田西条線の開通後は交通量が増えると思われまして、9-4の交差点が現道より北側に新設される計画になっていますが、右折レーンがネックになります。吉田西条線が完成するまでに方向を出していただいて、可能であれば県道にも右折レーンをつけて機能向上をお願いしたい。優先順位を高くしてお願いしたい。

都市計画課長 委員からの意見の確認をさせていただきますが、整備中の吉田西条線、ローソン

の角から東の岩船踏切へ向かっていく道路ですが、この部分について都市計画図をみていただきますとわかりますが、今の計画では北側へずれていることから、早く見直しをかける必要があるとのことですが、これについても検討して参りますのでよろしくお願いします。

会長 よろしいでしょうか。他にございましたら。

委員 確認の意味ですが、別紙3の説明がありませんでしたが。

都市計画課長 この後ご説明する予定でありました。

監理計画係長 今後のスケジュールについて説明させていただきます。8ページでは経過とスケジュールということで載せてございます。見直し検討部会による素々案作成が今年の3月に終了したところであります。

今後の流れでありますけれども、7月から概ね来年の1月までには庁内組織により素案を完成させたいと考えております。

その後、2月を目処に都市計画審議会での中間報告を行いまして、市内4地域への説明会、パブリックコメントを行い、計画に反映させて参りたいと考えております。最終的には都市計画審議会へ諮問させていただき、答申、公表と考えております。

都市計画課長 ただ今、説明申し上げたとおりであります。できるだけ早くできればと考えております。よろしくお願いします。

委員 今回の時点では7ページの①都市計画道路見直し検討部会での素々案ができたということでしょうか。

都市計画課長 部会で素々案をまとめたということでありまして。部会の委員構成は資料のとおりです。

委員 そうしますと、既に素々案ができていて、それに庁内の部会、委員会で来年の1月までかけて検討していくという予定でいいですね。そうすると7ページの図中の矢印の説明がわかりにくいので説明をお願いしたい。

都市計画課長 7ページで、②、③から戻ってきた時点で都市計画審議会へ説明したいと思っております。矢印が落ちていて失礼いたしました。

会長 事務局からは何かございますか。

都市計画課長 特にございませぬ。

会長 他にないようですので、本日予定しておりました会議は終了といたします。次回は2月予定ということですが、事務局においては根拠資料等の提供をお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。

都市計画課長 ありがとうございました。以上を持ちまして、平成22年度第1回中野市都市計画審議会を閉会いたします。

午後4時30分閉会